

故増谷外世嗣教授経歴年譜

大正一三年（一九二四年）

五月二七日 増谷要之助同しげゑの長男として滋賀県浅井郡

朝日村山本一一八五の一に生れる。

昭和一七年（一九四二年）

四月 第四高等学校文科甲類に入学する。

昭和一九年（一九四四年）

九月 第四高等学校文科甲類を卒業する。

一〇月 東京大学文学部英文学科に入学する。

昭和二〇年（一九四五年）

一月五日 召集を受け、陸軍二等兵として入營する。

九月一七日 上等兵として復員する。

昭和二三三年（一九四八年）

九月 東京大学文学部英文学科を卒業する。

十月一日 暁星学園高等学校英語教諭となる。

昭和二五年（一九五〇年）

四月 東京大学大学院に入学する。東京都立八潮高等

学校教諭に補される。

一二月三一日 新潟大学文学部助手に採用される。

昭和二七年（一九五二年）

三月 東京大学大学院を修了する。

昭和二八年（一九五三年）

九月一〇日 新潟大学文学部講師に併任される。

昭和二九年（一九五四年）

四月一日 東京水産大学講師に転任される。

昭和三二年（一九五六年）

四月一日 一橋大学社会学部講師に転任される。

昭和三年（一九五七年）

四月一日 東京大学教養学部講師に併任される。

昭和三五年（一九六〇年）

七月一日 一橋大学社会学部助教に昇任される。

昭和三六年（一九六一年）

四月一日 大学院社会学研究科授業担当を命ぜられる。

昭和三七年（一九六二年）

八月一日 英文学研究のためアメリカ合衆国へ出張を命ぜられる。

昭和三八年（一九六三年）

四月八日 連合王国、アイルランド、西ドイツ、オランダ、フランス、イタリア、ギリシャ、スイスおよびスウェーデンの各国に出張先追加を認められる。
八月一日 帰国

昭和四一年（一九六六年）

十一月一日 一橋大学社会学部教授に昇任される。

昭和四四年（一九六九年）

二月二六日 一橋大学評議員に併任される。昭和四五年七月七日に及ぶ。

昭和五三年（一九七八年）

三月三〇日 一九世紀イギリス産業革命と文学研究及び資料

収集のため、イタリア、連合王国、アメリカ合衆国へ出張を命ぜられる。

六月二九日 帰国

昭和五七年（一九八二年）

四月一日 和洋女子大学非常勤講師を委嘱される。昭和五

九年三月三十一日に及ぶ。

一五日 教科用図書検定調査審議会調査員に任命される。

昭和五九年三月三十一日に及ぶ。

昭和五九年（一九八四年）

四月二日 腹膜炎のため新宿区林外科病院において永眠される。
享年五十九歳。

従四位に叙せられ、勲三等旭日中綬章を授与される。